

10月のほけんだより



朝晩は肌寒く、日中も涼しく感じるようになってきました。寒くなると風邪をひかないよう厚着になりがちですが、子どもは大人より1枚少なめがちょうどよいとされています。薄着は暑さ寒さに対する適応能力を高め、丈夫なからだづくりに役立ちます。体調が良い時は動きやすく汗をかかない程度の服装を心がけ、本格的な寒さや感染症の流行シーズンを迎える前に、寒さやウイルスに負けない丈夫なからだをつくっていきましょう。

保健師 牧野 利香

各種検診・検査のお知らせ

10/14(水) 内科検診 全園児対象/聖光会病院 齋藤先生

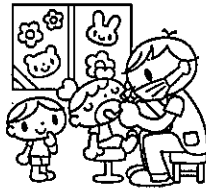
◎当日欠席された場合は、後日指定された日に聖光会病院で検診を行います。その場合は保護者の同伴が必要になりますので、あらかじめご了承ください。

10/28(水) 歯科検診 全園児対象/ながら歯科医院 阿多先生

◎0,1,2歳児は1人1枚バスタオルを、名前を書いて忘れずにお持ちください。

10/13(火) 視力検査 4歳児のみ

◎保健師が視力表を用いて検査を行います。
◎事前に問診票の記入・提出にご協力をお願いします。



身体測定日

5歳児	10/9(金)
3,4歳児	10/8(木)
0,1,2歳児	10/12(月)

当日は着脱しやすい服装で、髪を結んでいる場合は頭の上には結ばないようお願いいたします。

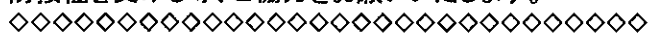
インフルエンザの予防接種が始まります

9月末に町からご家庭に予診票が送付されます。(町に住居票があるお子さんのみ)お手元に届いたら内容をよく確認し、流行前に接種を済ませましょう。

インフルエンザは任意接種になりますが、園では集団感染を防ぐため接種をお勧めしています。アレルギーのあるお子さんは、かかりつけ医とよくご相談ください。

また今年には新型コロナウイルス感染症の流行が懸念される中、インフルエンザワクチンの需要が高まる可能性があり、65歳以上の方以外は10月26日(月)まで接種をお待ちいただくよう厚労省から協力のお願いが出されています。接種の受付期間については、各医療機関にご確認ください。

また家庭内での感染を防ぐため、ご家族の皆さんも予防接種を受ける等、ご協力をお願いいたします。



インフルエンザに罹患した場合

登園許可証が必要です。

登園の目安は「発症した後5日経過し、かつ解熱した後3日を経過していること」です。



子どもがものを詰まらせた！ まずは119番、そして応急処置を

9月7日、東京都八王子市で4歳児が大粒のブドウを喉に詰まらせて亡くなる事故が起きました。

食事中に急に顔色が悪くなり、苦しそうな様子を見せたり声が出せなくなった場合には窒息の可能性があります。窒息の場合、蘇生のチャンスは最大9分とされ、すぐに処置が必要です。～応急処置の流れ～

窒息を疑ったら…

↓ 119番通報

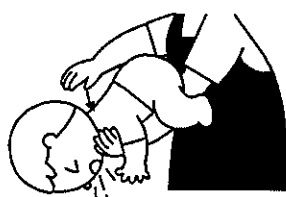
反応がある ・ 反応がない → 心配蘇生法

吐かせる …… > 反応がなくなれば

～吐かせ方～

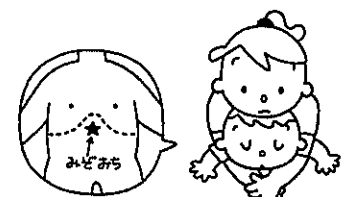
【乳児・幼児】

片手で体を支え、手の平であごをしっかり支えます。もう一方の手の平の付け根で背中をしっかりと叩きましょう。



【幼児】

背後から両腕を回し、子どものみぞおちの下で片方の手を握り拳にします。その手で腹部を上方へ圧迫しましょう。



異物が取れるか、救急隊と交替するまで繰り返し続けましょう。

※口の中に指を入れて取り出そうとすると、異物がさらに奥へ進んでしまうことがあります。

10月10日は目の愛護デー

2つの10を横に倒すと、眉と目の形に見えることから10月10日は目の愛護デーとされています。

乳幼児期は、子どもの目をもっとも育つ時期です。そのため乳幼児期に視力の発達がうまくいかなかった場合、

その後視力を伸ばすことが難しくなります。子どもは自分の目に異常があっても、なかなか自覚できません。周囲の大人が日頃からお子さんの目の状態に注意を向け、気になることがあったら早めに受診しましょう。

